

全国

ぜんこく
しぎかいじゅんぼう

平成21年
(2009年) 4月5日
毎月3回5の日に発行

第1719・20号
定価 1部20円

発行 全国市議会議長会
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03(3262)5234
旬報 TEL 03(3262)2309
発行人 大竹 邦実
<http://www.si-gichokai.gr.jp>

市議会旬報



3月27日に政府の平成21年度予算、予算の執行に必要な財源を手当てする関連法が、それぞれ成立した。これに伴い、麻生総理が目指した「3段ロケット」が完成したこと

全国市議会議長会は5月27日10時30分から東京・日比谷公会堂で第85回定期総会を開催する。総会では、新会長を選任するとともに、正副議長・議員の永年勤続表彰を行う。来賓として、内閣総理大臣、総務大臣、衆参両院議長を迎える予定。午後には地方行政、地方財政委員会など7委員会の1年間の活動結果を

本会が定期総会

5月27日・日比谷公会堂で

各委員長が報告する。このほか、会長提出議案と9部会から提出される議案を審議したのち、副会長、部会長などの役員改選と顧問、相談役の委嘱を行う。総会終了後は、同会場で地方行政、地方財政委員会など5委員会の合同会議を開き、それぞれ正副委員長を選任する(開催案内は3月13日付で全市に送付済み)。

政府 平成21年度予算 関連法が成立と

となる。麻生総理は、昨年から陥った100年に一度の経済危機克服に向け、「20年度1次補正」「同2次補正」「21年度予算」をロケットになぞらえ、3段階による景気浮揚策の構築を急いでいた(写真は予算成立後、衆議院本会議場で握手する麻生総理・写真提供：内閣広報室)。政府の景気浮揚に向けた青写真が、公表順に、安心実現のための緊急総合対策11・5兆円 生活対策26・9兆円 生活防衛のための緊急対策43兆円。重複を除いた対策の総額規模は75兆円にも及ぶ。地方財政関連では今回の予算関連法の成立により、の対策に基づく「雇用創出等のための地方交付税増額」の実現が図られる。この措置は、地域雇用創出推進費の創設により0・5兆

円、地方財政計画の歳入歳出を見直すことにより0・5兆円、合計1兆円を捻出する取り組み。20年12月18日に決着をみた21年度地方財政計画において、麻生総理の指示に基づき地方交付税が1兆円の積み増しとなったが、同交付税増額の裏付けとなる予算関連法の成立が待たれていた。同法が成立したことで、21年度同交付税総額は、対前年度比2・7%増の15・8兆円が確保されることとなった。

岡山市が指定都市へ

4月1日、岡山県岡山市が中核市から政令指定都市へ移行した。これにより全国で18番目、中国部会で2番目となる指定都市が誕生した。指定都市となったことで、児童福祉、生活保護、都市計画等の事務について、都道府県並みの権限が付与される。

真岡市が編入合併

3月23日、栃木県の真岡市が二宮町を編入合併した。これにより同市は、人口8万3126人、面積167・21平方キロ、議員定数28人(定数特例)となった。

前橋市 大津市 中核市へ 尼崎市

4月1日、群馬県前橋市、滋賀県大津市、兵庫県尼崎市の3市が特例市から中核市に移行した。これにより、全国の中核市は41市となった。中核市の要件は人口30万人以上。面積要件は平成18年6月7日に廃止されている。

新・日南市誕生

3月30日、宮崎県の日南市、北郷町、南郷町が合併、新・日南市が誕生した。これにより同市は、人口6万248人、面積536・12平方キロ、議員定数42人(在任特例)となった。

4月5日現在の市数	
806市	
うち	
指定都市	18市
中核市	41市
特例市	40市
特別区	684市
特別区	23区

20年度 本委員会 活動結果の概要

③
(完)

前回に引き続き、本会の各委員会の平成20年度要望活動結果について、その概要を掲載する(連載は今回で終了)。

産業経済委員会

1. 農業関係

戦後農政の大転換とされる

「水田・畑作経営所得安定対策」は、稲、麦、大豆など耕地利用型作物の収穫効率を大幅に改善すべく、平成19年度作物から導入された。産業経済委員会ではこれに対し、対象5品目以外にも、各地方の特色ある産物を加えることができるよう求めてきた。

この品目拡大の要望は実現されなかったが「国内農業の体質強化による食料供給力の確保」として、本対策の目標である 意欲と能力のある担い手の育成 担い手サポート事業 担い手支援リース事業 に所要額が措置され、次世代を担う若い経営者の育成が図られる。

このほか、22万畝にも及ぶ耕作放棄地解消対策として「耕作放棄地等再生緊急対策

交付金」が新設されたほか、「耕作放棄地解消対策」に20年度比26%増の925億円が計上された。

また、我が国が誇る水田の活用により、耕作放棄地を復活させて、先進国中最低ランクにある食料自給率を回復させるための「国内における食料自給率の強化」も目玉政策のひとつ。小麦粉の代用となる米粉の生産や水田を使った

麦、大豆、飼料用米の生産などを推進するための基礎整備と関連支援策の実施を図るための「水田等有効活用促進交付金」404億円、「水田等有効活用自給力強化向上対策」2189億円が計上された。

2. 林業関係

燃油価格高騰による運搬費の上昇のため、輸入材と国産材の価格差が減少したことから、国産材利用は増加している。しかしながら7割を山地が占める我が国において、木

材の産出、運搬が他国に比べ非常に不利である。

このため条件不利森林の整備促進を図る 条件不利森林の整備緊急特別対策事業 森林境界明確化促進事業 などが新設され、間伐等の森林整備が進みにくい条件不利森林の早期解消に向けた取組等の充実が図られる。

3. 水産業関係

「将来にわたって持続可能な

6. 中小企業振興関係
百年に一度という不況下において、本委員会は、地域の雇用や経済に重要な役割を担っている中小企業の振興対策の充実を強く求めた。この結果 経営安定関連保証等対策 費補助事業 中小企業資金繰り対策 中小企業円滑化事業 など資金繰り対策の強化が図られる。

また、特に景気悪化のしわ寄せが及びやすい下請中小企業に対し、親企業による買い叩きや、過剰な値下げ要求を防ぎ、立場の弱い中小企業を

な力強い水産業確立」として、昨年の燃油高騰により、休漁や廃業が相次いだ水産業に対する支援として「省エネ対応・資源回復等推進支援事業」が新設された。

また、水産業の漁業生産の7割を占めている漁船漁業については、資源の減少、輸入の拡大、魚価の低迷によって急激に収益が悪化していることから、「漁船漁業構造改革対策」に57億円が計上された。

4. 燃油高騰関係

昨年10月頃より一般水準に戻り始めた燃油価格だが、今

守るための「下請代金支払遅延等防止法」の運用強化や、「下請駆け込み寺」など相談窓口が設置された。このほか、法人税率の引き下げや欠損金繰り戻しによる法人税還付など中小企業対策税制が強化された。

なお、この危機的時期をチャンスに変えていくため、「新分野への挑戦に対する応援」として、特に地域に根ざした農林水産業と商工業が連携する「農商工連携・地域資源活用促進等」155億円が計上。この中に新設された

後も不安定な状態になる可能性をはらんでいる。

現在の石油依存体質の改革に資するため、漁業や施設園芸農家に対する燃油高騰対策として、「農林水産分野における省エネ・省資源化の推進」に899億円が計上された。

5. 食の安全及び消費者の信頼確保対策
食品に起因する健康への悪影響を未然に防止することに重点を置き、生産現場から食卓までを通じ、食品の安全対策に取り組み。

特に食品表示について監視

「新事業活動促進支援」「中小企業総合経営支援」などにより、各地域の強みである「地域資源」を活用した新事業支援が図られる。

7. 資源エネルギー関係
原油・原料価格の乱高下や地球温暖化問題への取組強化など資源・エネルギー政策を取り巻く環境が大きく変化している。このため 石油・天然ガス・鉱物資源等の安定供給確保 省エネルギーの推進 地球温暖化対策の推進 新エネルギーの推進・エネルギーの高度利用 安全で平和的

「新分野への挑戦に対する応援」として、特に地域に根ざした農林水産業と商工業が連携する「農商工連携・地域資源活用促進等」155億円が計上。この中に新設された

・指導を徹底するとともに、食の安全に関する情報・相談活動を強化し、食品事業者の法令遵守の徹底を図るため 食品安全確保対策 食品に対する国民の信頼確保 食品表示適正化総合対策事業 など、多くの項目が予算増となった。

また、新方式の農業生産工程管理手法(GAP)や、食品の全製造工程を監視して安全性を確保するHACCP方式の推進等、生産者・流通業者などの食に携わる者への安全意識の浸透が図られる。

な原子力利用の拡大と電力政策の着実な推進 などに所要額が計上された。

なお、特に本委員会が強く要望した太陽光や風力発電など新エネルギーの利用拡大等については「住宅用太陽光補助金」291億円が新規で計上されたほか、稲わらを活用した「食料と競合しないバイオエタノールの革新的生産システム開発」「革新型蓄電池の開発に向けた拠点整備」が新設され、エネルギー源の多様化・分散化が図られる。

(担当：産業経済委員会)

平成20年中の意見書・決議の議決状況

【 】内は小計

件名	意見書	決議	件名	意見書	決議
【税・財政】	【 171】	【 4】	【公害・環境保全】	【 462】	【 9】
地方税財源の充実・強化	100		地球温暖化対策の推進	133	3
大阪府予算への所要経費計上	16		携帯電話リサイクルの推進	107	1
固定資産税・都市計画税の軽減措置継続	7		太陽光発電システムの普及促進	92	
その他	48	4	バイオマス推進基本法の制定	51	
【地方行政・議会・選挙】	【 271】	【 22】	その他	79	5
新たな過疎対策法の制定	120		【建設・運輸・郵政・国土保全】	【 750】	【 27】
地方消費者行政の拡充	81		道路整備の財源確保	574	10
国の地方出先機関統廃合の見直し	19		郵政民営化の見直し	57	
地方議会議員の年金制度の見直し	17		河川・国道など国からの権限移譲反対	35	
その他	34	22	その他	84	17
【医療・保健衛生】	【 889】	【 12】	【労働・商工】	【 662】	【 32】
医師・看護師不足の解消と地域医療体制等の充実	284	5	協同労働の協同組合法の速やかな制定	169	
後期高齢者医療制度の見直し	184		中小・零細企業対策の充実強化	108	1
子宮頸がんの予防・早期発見のための取組の推進	128		派遣労働者の処遇改善	84	
ヒトT細胞白血病ウイルス1型関連疾患の予防等	37		最低賃金の引き上げ	55	
混合型血管奇形の難病指定	33		雇用促進住宅の存続及び退去困難者への支援強化	45	
子どもの医療費無料制度の充実	27	1	公共工事における労働者の適正な労働条件の確保	37	
歯科医療の保険適用範囲拡大	26		緊急経済対策の実施	36	5
肝炎対策の推進	25		その他	128	26
ハンセン病療養所の存続・発展	22		【警察・防災・消防】	【 71】	【 11】
国民健康保険制度の改善	16	1	取り調べ可視化の実現	16	
妊婦健康診査に対する助成措置拡大	15		その他	55	11
その他	92	5	【外交・防衛・国際関係】	【 246】	【 68】
【教育・文化】	【 572】	【 13】	米兵による暴行事件等に対する抗議	79	23
義務教育費国庫負担制度の堅持	149		海上自衛隊イージス艦衝突事故の真相究明	34	1
教育予算の拡充	100		「非核日本宣言」として各国への通知	30	2
学校施設の耐震化促進	78	1	北朝鮮による核・ミサイルと拉致問題の早期解決	24	
教職員定数の改善と少人数学級の実現	71	1	その他	79	42
私学助成の充実	56		【社会・くらし】	【 1062】	【 13】
有害情報から子どもを守る環境整備	24		介護保険制度の改善	272	
へき地級地の見直し	11		地デジ放送の受信対策	86	
その他	83	11	社会保障費抑制方針の撤回	70	
【農林・水産】	【 771】	【 2】	生活品物価高騰に対する緊急対策の実施	60	
食の安全確保と事故米事件の全容解明など	228		暮らせる年金の実現	59	
森林・林業・木材産業施策の積極的展開	162		原油価格高騰対策の実施	58	1
燃料・肥料・飼料・農業資材等の価格高騰対策	114		障害者自立支援法の見直し	54	
食料自給率の向上	65		日本映画への字幕付与	47	
国営農業水利事業の存続	39		現行保育制度の堅持	44	1
WTO農業交渉での国内農業への配慮	28		原爆症認定制度の改善	41	
米価の安定対策	22		自主的な共済制度の保険業法の適用除外	35	
その他	113	2	都市再生機構賃貸住宅の家賃改定見直し	27	
			その他	209	11
			【その他】	【 0】	【 3】
			【総合計】	【 5927】	【 216】

各市議会から任意に提供された平成20年中の意見書・決議をもとに集計

市政 ニュース

汽水湖で有名な「宍道湖(しんじこ)」と「中海(なかつま)」に挟まれた地域に広がる松江市は、松江城の堀川も市内に張り巡らされており、多様な水域に恵まれた水の都として知られています。市内中央部には、2つの湖をつなぐ大橋川が満面の水をたたえ、まさに水の都にふさわしい趣を奏めています。



ホーランエンヤ



12年に一度の錦絵巻

松江市(島根県)

この大橋川をメインステージに5月16日から24日まで、「広島・宮島の管絃祭」「大阪・天満の天神祭」と並び、「日本三大船神事の1つに数えられる「ホーランエンヤ」が開催されます。

ホーランエンヤの正式名称は「松江城山稻荷神社式年神幸祭」。五穀豊穣を願い12年に一度、執り行われるお祭りとして、360年にわたり地元で受け継がれてきました。神幸祭の通称となっている

ホーランエンヤとは、神事を行うにあたっての舟唄の名称に由来します。「豊来宋弥」「宝来遠弥」とも書かれ、五穀豊穣への熱い願いを込め神幸祭で唄われます。

9日間にわたる神幸祭の見所は、なんといっても「渡御祭(とぎよさい)」5月16日、「中日祭(ちゆうにちさい)」20日、「還御祭(かんとくぎ)

船上で繰り広げられる「剣権」の舞い



夜神社へ運ぶ行事。

して訂正いたします。

権伝馬踊り披露

1 大橋川	2 意宇川	3 阿太加夜神社	4 松江城
渡 10:10~12:30	渡 15:10~15:40	中 13:10~15:30	還 16:00~16:50
還 12:30~14:45	還 9:35~10:05		

各市のニュースを募集

「全国市議会旬報」では、各市のニュースを募集しています。全国の自治体の中でも先進的な取り組み、ユニークな条例、自慢のイベント、地域のお祭りなど、お寄せいただく情報のジャンルは問いません。ご提供いただいた情報につきましては、本紙編集担当職員が記事を作成し、議会ニュースあるいは市政ニュースとして紙面で紹介いたします。本紙をPRの場として活用されてみてはいかがでしょうか。(問合せ先) 全国市議会議長会 調査広報部 担当 松下まで ☎03(3262)2309

「ぎよさい」24日。特に渡御祭と還御祭では、100艘を超える船が大橋川に集まり、空前絶後の一大錦絵巻が展開されます。

なかでも、市内の馬場・矢田・大井・福富・大海崎の5

地区からは、歴史的経緯により「権伝馬船(かいでんません)」と呼ばれる色とりどりに装飾された船を出し、松江市指定無形民俗文化財「権伝馬踊り」を勇壮に披露します。

ホーランエンヤの唄声が響くなか船上で繰り広げられる、剣をかたどった権を操る「剣権(けんがい)」、4斗樽の上で上半身を反り返し天空へ采を振り舞う「采振り(さいふり)」らの姿が、集まった観衆を魅了します。

本紙3月15日付第1718号4面の「9議長会総会・4月に開催へ」の記事中、近畿議長会の総会開催市を「吹田市」と伝えましたが、正しくは「摂津市」でした。お詫びして訂正いたします。

【お詫びと訂正】